



平成21年3月期（2008年度） 第2四半期 決算説明会

テレビ東京ブロードバンド株式会社

コード番号：3786

2008年11月20日



代表取締役社長

加藤 雅夫



内容

1. 2008年度第2四半期 決算報告
 - (1)2008年度第2四半期決算 ハイライト
 - (2)連結・個別の決算概要

2. 上期トピックス
 - (1)コンテンツ事業
 - (2)メディア事業

3. 2008年度 通期業績予想



1. 2008年度第2四半期 決算報告

基本方針

外部環境

- ・ モバイルでの事業モデルの多様化
「有料会員」→「EC」「広告」「送客」
- ・ SNS、動画投稿サイト等が活発化

内部環境

- ・ 前期において大幅な特別損失を計上する要因となった音楽関連事業を見直し、リソースの再分配を行う必要性

事業ドメインの再定義

「メディア事業」と「コンテンツ事業」の2軸で当社グループ事業を展開

基本方針

テレビ東京グループのIT戦略企業として、テレビ東京との業務提携を深め、「モバイル&インターネット分野」へ経営資源を集中投下し、業績の回復と復配を目指す積極的且つ堅実な成長戦略を実行する。

決算ハイライト（累計）

（単位：百万円）

連結	07年度 第2四半期 (実績)	08年度 第2四半期 (実績)	対前期 増減率 (%)	期初予想
売上高	1,902	1,711	△10.0	1,857
営業利益	△112	△101	-	11
経常利益	△126	△113	-	1
当期純利益	△149	△50	-	△15
個別	07年度 第2四半期 (実績)	08年度 第2四半期 (実績)	対前期 増減率 (%)	期初予想
売上高	1,360	1,246	△8.4	1,383
営業利益	26	△67	-	33
経常利益	32	△60	-	38
当期純利益	6	△51	-	22



決算ハイライト

連結

不採算であった一部コンテンツ配信サービスを取り止めたこと、法人向けシステム開発受託案件の検収が遅れたこと及びラジオ広告市況の低迷等から、売上高、利益ともに期初予想を下回ることとなりました。

また、前期に掲げた音楽関連事業の見直しを行っており、計画完了までの一定期間コストが引き続き発生しています。

個別

不採算であった一部コンテンツ配信サービスを取り止めたこと、法人向けシステム開発受託案件の検収が遅れたことから売上高が期初予想を下回ることとなりました。

また、利益面ではコンテンツ制作の高付加価値化への対応、新規コンテンツ制作に伴う費用の増加により計画数値を下回ることとなりました。

連結損益計算書（累計）

（単位：百万円）

項目	07年度 第2四半期 (実績)	08年度 第2四半期 (実績)	対前期 増減率 (%)	主な増減要因
売上高	1,902	1,711	△10.0	<ul style="list-style-type: none"> 一部コンテンツ配信サービス中止 受託案件の検収遅れ ラジオ広告市況の低迷
営業利益	△112	△101	-	<ul style="list-style-type: none"> コンテンツ制作の高付加価値化への対応 新規コンテンツ制作費の増加
経常利益	△126	△113	-	
当期純利益	△149	△50	-	<ul style="list-style-type: none"> 法人税等の還付

セグメント別情報（連結）

（単位：百万円）

	08年度 第1四半期 会計期間 (実績)		08年度 第2四半期 会計期間 (実績)		08年度 第2四半期 累計期間 (実績)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
コンテンツ事業	540	△29	544	0	1,085	△29
メディア事業	282	△23	285	△18	567	△42
その他の事業	57	△24	0	△5	58	△29
全社合計	880	△78	830	△23	1,711	△101

連結貸借対照表

(単位：百万円)

項目	07年度 通期 (実績)	08年度 第2四半期 (実績)	対前期 増減率 (%)	主な増減要因
流動資産	2,151	2,067	△3.9	売掛金の減少
固定資産	898	687	△23.4	のれんの償却による減少
資産合計	3,049	2,755	△9.6	
流動負債	799	641	△19.8	短期借入金の減少
固定負債	1,120	1,035	△7.5	長期借入金の減少
負債合計	1,919	1,676	△12.6	
株主資本合計	1,130	1,079	△4.6	四半期純損失による利益剰余金の減少
評価・換算差額等	△0	△0	-	
純資産合計	1,130	1,078	△4.6	
負債純資産合計	3,049	2,755	△9.6	

連結キャッシュ・フロー計算書

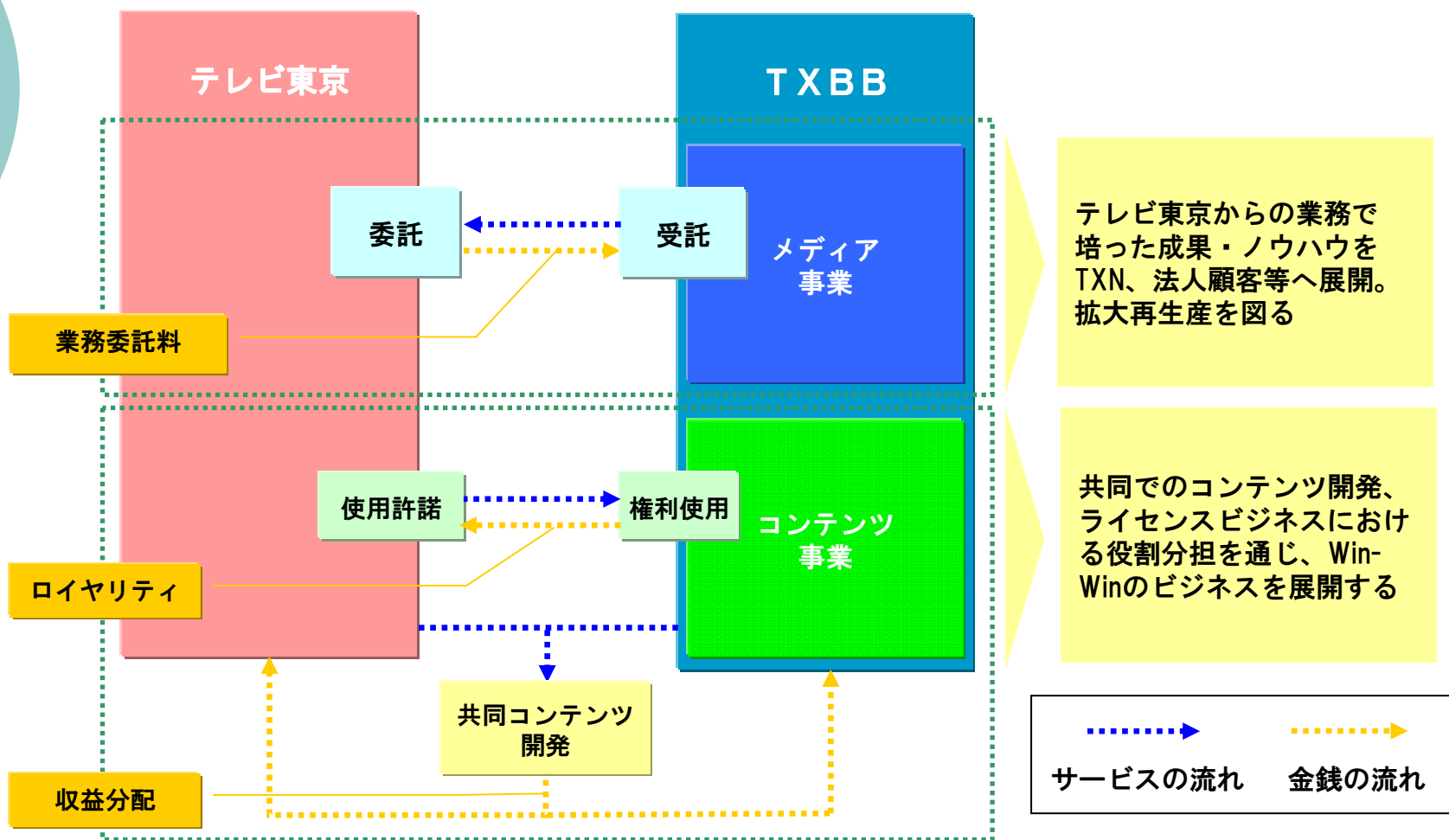
(単位：百万円)

項目	07年度 第2四半期 (実績)	08年度 第2四半期 (実績)	対前期 増減率 (%)	主な増減要因
営業活動による キャッシュ・フロー	97	89	△8.7	減価償却費・のれん償却費の減少 仕入債務の減少
投資活動による キャッシュ・フロー	△136	39	-	子会社株式の売却による増減
財務活動による キャッシュ・フロー	76	△110	-	借入金の返済による減少
現金及び現金同 等物の期末残高	696	735	5.6	



2.上期トピックス

テレビ東京との業務提携の強化



上期トピックス（コンテンツ事業）

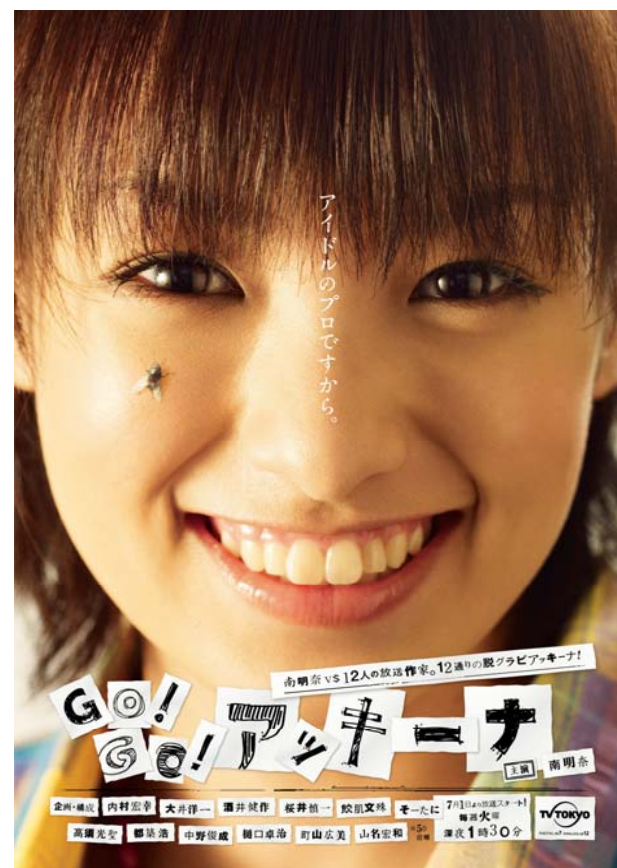
テレビ東京にて放送中の人気アニメ、『ソウルイーター』
『家庭教師ヒットマンREBORN!』の携帯公式サイトを提供を開始。



上期トピックス(コンテンツ事業)

テレビ東京にて放送の「GO!GO!アッキーナ」では、制作委員会に参画、携帯公式サイトをオープン。

番組最新情報はもちろん、専任カメラマンによる撮影中のスナップをはじめ、番組特製ボイス、端末連動フラッシュなど、魅力的なコンテンツで、番組に付加価値を提供。



© TV TOKYO

上期トピックス（コンテンツ事業）

持分法適用関連会社(株)パコマが運営する「Snoopy Cafe」第2号店が千葉駅の千葉ペリエにオープン。

CAFE SNOOPY CAFE SNOOPY CAFE SNOOPY CAFE SNOOPY

Doughnut

 180 スノーピークラシック	 200 チャーリー・ブラウン	 200 サリー
Doughnut		
フレンチクルーラー（グレース）	180	
フレンチクルーラー（カスタード）	230	
フレンチクルーラー（チョコレート）	200	
フレンチクルーラー（ストロベリー）	200	
シナモンロール	280	
		 230 ウッドストック
		 230 フレンチクルーラー（カスタード）

Sandwich

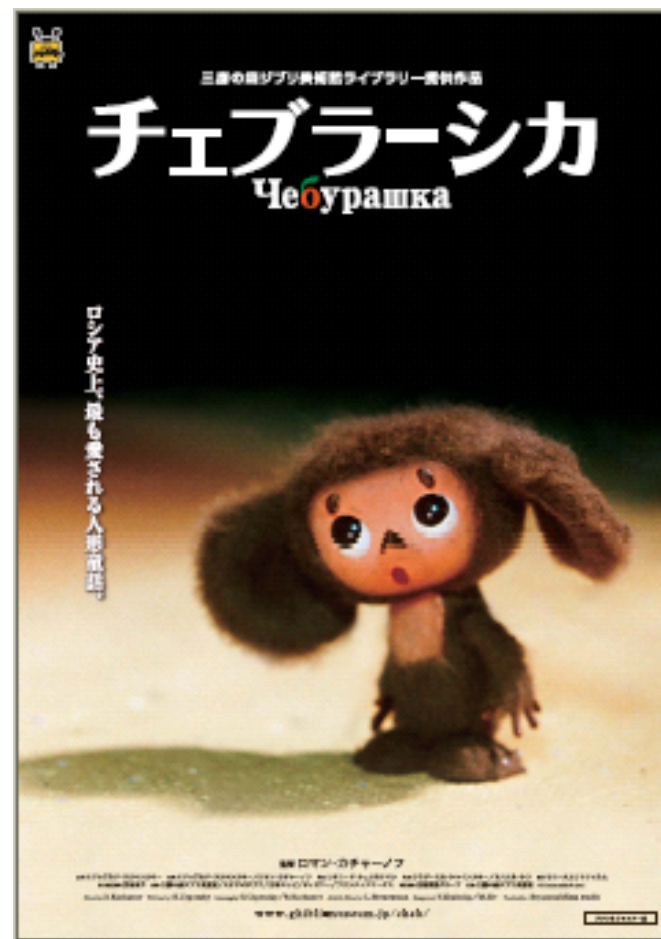
 350 ホットドック	 370 チーズドック	
 420 フィッシュフライのタルタルサンド	 420 ツナとシュリンプのサンド	 450 熟成ハムとパストラミビーフのサンド

CAFE SNOOPY CAFE SNOOPY CAFE SNOOPY CAFE SNOOPY



上期トピックス（コンテンツ事業）

オールライツを管理するキャラクター
チェブラーシカの著作権事業は商品化、
劇場公開、出版、イベントと幅広く展開。
劇場配給権は、スタジオジブリにライセンス。
関東、関西はじめ、全国の主要都市の劇場で
ロングランを記録。
この秋からはディズニーでDVDを発売予定。



上期トピックス（メディア事業）



© TV TOKYO

テレビ東京の人気バラエティー「やりすぎコージー」
（10月から月曜よる9時放送）では、ゴールデン進出の1か月前から
番組HPとモバイルサイトで人気お笑い芸人による「やりすぎ動画」の
無料配信を展開。

動画は単なる番組宣伝ではなく、特別に制作されたスピンオフ企画で、
本放送の開始前にもかかわらず多くの視聴者のアクセスを獲得。
これまでもすでに再生回数約100万回を記録。

上期トピックス（メディア事業）

クライアント企業向けに、Web、モバイル、イベント、テレビ、ラジオ等の媒体を組み合わせた広告の企画提案及び掲載管理、効果検証を実施。

当四半期においては、テレビ東京公式ホームページを媒体として活用したネット広告の販売代理を展開。



© TV TOKYO

前期における事業の見直しの進捗

商号	主な事業の概要	譲渡日
グリーンジャングル株式会社	有料職業紹介事業	平成20年5月23日
Traffic株式会社	音楽レーベル事業	平成20年7月25日

HOWLING BULL Marketing株式会社、DIS株式会社についてもその位置付けも含め、現在、鋭意見直しを進めております。

その進捗につきましても、公表が可能となった段階で、速やかに開示させていただきます。



3. 2008年度 通期業績予想

基本方針

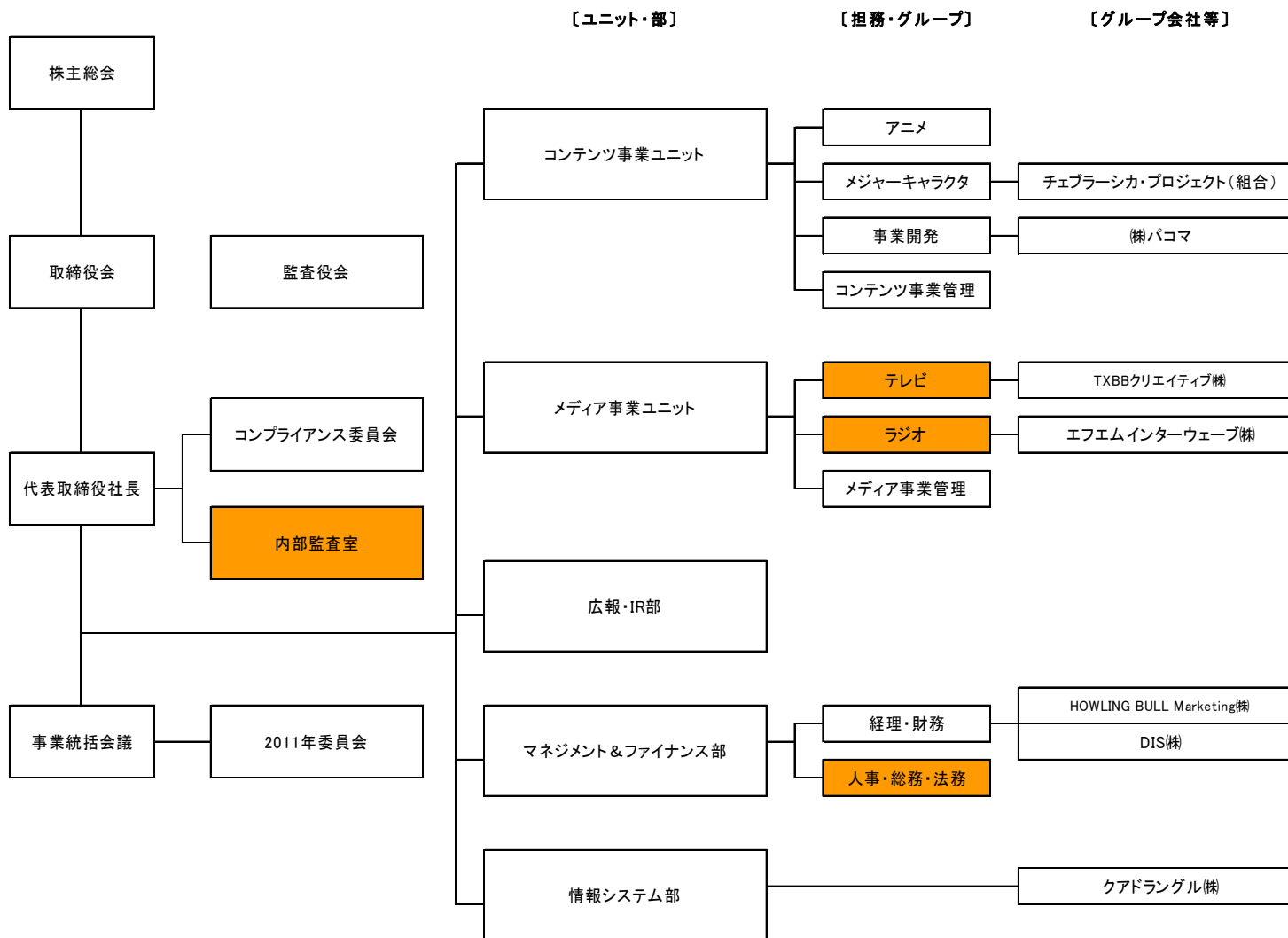
基本方針

テレビ東京グループのIT戦略企業として、テレビ東京との業務提携を深め、「モバイル&インターネット分野」へ経営資源を集中投下し、業績の回復と復配を目指す積極的且つ堅実な成長戦略を実行する。

組織改編

- ◎テレビ東京関連事業（TXWeb,てれともばいる等）の統合、強化
- ◎コーポレートガバナンス強化を目的とする内部監査体制の整備

組織改編（2008年12月1日付）



下期へ向けた具体的取り組み

コンテンツ事業

- ・今後の成長が見込まれる技術・端末等(コンシェル、ウィジェット等を販路とし、当社が得意とするメジャーコンテンツを供給
- ・ECサイト「キャラポケ」を基盤に技術・ノウハウを各サイトに水平展開し、EC事業を強化
- ・有力キャリア、端末メーカー及びミドルウェア開発会社とのハードウェアでの連携を強化

メディア事業

テレビグループ

- ・TXWeb広告代理の拡大。広告掲載ページ増、企画広告、番組との連動広告の実施などを積極的に展開
- ・動画配信の収益モデル化。テレビ東京の番組を中心に有料コンテンツ配信や広告モデル化等を検討

ラジオグループ

- ・InterFMの営業支援等、再建支援の実施

計数目標

(単位：百万円)

連結	07年度 (実績)	08年度 (予想)	09年度 (予想)	10年度 (予想)
売上高	4,096	3,950	3,980	4,120
営業利益	▲207	65	250	330
経常利益	▲203	50	240	320
当期純利益	▲2,258	3	130	190
個別	07年度 (実績)	08年度 (予想)	09年度 (予想)	10年度 (予想)
売上高	2,841	3,000	3,060	3,200
営業利益	83	80	240	300
経常利益	95	90	250	310
当期純利益	▲2,324	54	150	186



当資料についての注意点・お問合せ先

《注意点》

- 当資料に含まれる業績予想等の将来数値につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループで判断したものです。
- 将来数値はさまざまな不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの数値と異なる場合がありますので、この数値に全面的に依拠して投資等の判断を行うことは差し控えてください。

《お問合せ先》

テレビ東京ブロードバンド株式会社

広報・IR部：佐藤友隆

電話：03-5733-3888（代表）

E-mail：prir@tx-bb.com